



Z1

ユーザーマニュアル

この度は、スキューバプロ Z1 をご購入いただきまして、誠に有難うございます。
ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
本書をお読みになった後も、大切に保管して下さい。

◆十分に充電してお使い下さい

・ご使用いただく前に、まずは充電量をご確認下さい。
参照 充電量の確認・・・P.13

◆本製品は、ISO6425 及び JISB7023 で定められている潜水用時計 (100m) に準拠するものではありません。

◆認証規格

R&TTE	EN 60950-1
	EN 300 328
	EN 301 489-1
	EN 301 489-17
	EN 62479
FCC	FCC Part 15

◆手動で開始したダイブモードは EN13319 に準拠します。

1. はじめに

本製品は、安全に無減圧ダイビングを行うことを補助するダイブコンピュータです。

ソーラーパネルにより光で発電して動作するので、定期的な電池交換が不要です。

時計モード中は、時刻、アラーム、タイマー、ストップウォッチ、方位/方位角度、ワールドタイム、水面休息時は、水面休息時間、体内窒素排出時間の表示など多彩な機能を備えています。

ダイブモード中は、水深、水温、潜水時間、浮上速度、減圧に関する情報を提供し、減圧不要潜水時間を超過した場合には、アラームと画面メッセージにより警告します。

ナイトロックス (EANx) ダイビングにも対応していますので、酸素の濃度比率を 21% (圧縮空気) から最大 100% まで 1% 刻みで設定できます。

本製品の減圧プログラムは、AA ビュールマン博士の減圧理論に基づいた演算モデルを採用しています。

本製品をご使用になる前に、必ず本書により、取り扱い方法、及び警告や注意事項を全て理解する必要があります。重大な事故を起こさない為にも、必ず本書の内容を十分理解して下さい。また、ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店までお問合せ下さい。

ダイビングにお出かけの際は、本書がいつでも見られるように常に携帯されることをお勧めします。本製品の機能を理解して活用すれば、安全で安心なダイビングをお楽しみ頂けることでしょう。

2. このダイブコンピュータの特徴

本製品は、次の機能を備えています。

◆光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電します。
電気エネルギーを充電しながら動作します。

◆方位が分かります

目標物の方位や現在位置を調べることができます。

◆アラームを設定できます(時計モード時機能)

設定した時刻になると、アラーム音でお知らせします。

◆ストップウォッチとして使えます

経過時間を計測できます。

◆タイマーとして使えます(時計モード時機能)

設定時間をカウントダウン計測します。
予定の時間になるとタイムアップ音や予告音でお知らせします。

◆ワールドタイムが分かります(時計モード時機能)

世界 48 都市の時刻を表示できます。

◆Bluetooth SMART を利用して通信ができます。(通信機能)

ログ/プロファイルデータの受信が可能です。

◆ガス切替ができます。

最大 4 種類のガスを設定、切替可能です。

3. 安全上のご注意

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するため、色々なマークを使用しています。その表示と意味は次の通りです。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

危険

本製品をご使用になる前に、必ず本書により、取り扱い方法、及び警告や注意事項を全て理解して下さい。ご不明な点がある場合には、販売店にて必ず説明を受けてください。また、海洋等で本格的に使用される前に、使い方が理解できているかをプール等の限定水域で必ずチェックしてください。万一、間違った使い方をすると、重大な事故につながる可能性があります。

本製品をスキューバダイビングで使用する場合は、国際的に認定されたダイビング指導団体の学科講習及び実技講習を受講し、その団体により発行されたCカード(認定書)を取得していなければなりません。(但し、各団体のインストラクター監督下における講習中の使用は、この限りではありません)

ナイトロックス(EANx)ダイビングで使用する場合は、ナイトロックス(EANx)ダイビングに関する講習を受講し、修了されていることが条件です。受講修了されていない方は使用しないで下さい。

参考 EANx: Enriched Air Nitrox (略称: ナイトロックス)

通常使用する圧縮空気(酸素濃度21%)よりも酸素の割合を高くした混合ガス。

減圧停止指示違反警告、及び計測範囲外警告が表示された場合は、減圧症の危険性があるダイビングを行ったということになりますので、このような表示が絶対に出ることのないようなダイビングを行ってください。また、万一このような表示が出た場合には、必ず次のダイビングは中止し、体調の変化に留意して下さい。

本製品に異常が見受けられた場合、速やかに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談下さい

警告

●ダイビング前に充電レベルが"H"であることを確認して下さい。万一、ダイビング中に充電レベル警告が表示された場合、可能な限り速やかにエキジットして充電して下さい。

※ダイビング中に充電レベル警告が表示されても、そのままダイビング可能な電池残量は十分ありますので、慌てずに対応してください。

参照 充電レベル警告・・・P.15

●本製品の警告表示、注意メッセージには直ちに從って下さい。

●本製品をご使用の場合でも、バックアップツールとして他の機器(ダイブコンピュータ、ダイバーズウォッチ、水深計など)と併用して下さい。

●本製品をレジャーダイビング以外の目的で使用しないで下さい。

●本製品を使用した後、体内窒素が残っている状態で、他人に貸借したり、共有することは絶対にしてはいけません。

●酸素濃度設定は、必ずダイビング毎に設定して下さい。タンクの酸素濃度と本製品の酸素濃度設定値が合致していないと非常に危険です。

●お客様自身で、本製品の分解、修理、改造、二次電池の交換、圧力チャンバートテストなど、を行ってはいけません。適切な知識が無い状態で行うと故障の原因となり、非常に危険です。

●本製品は、酸素濃度21%(圧縮空気)と酸素濃度22%～100%のナイトロックス(EANx)ガス用です。他の混合ガスでは使用できません。

●個々のダイバーは、必ず自分にあった安全なダイビングの計画と遂行に責任を持つ必要があります。

●本製品の表示よりも控えめなダイビングを行うように心掛けて下さい。本製品は、完全に減圧症などの疾患を予防することはできません。

●本製品は、タンク内の残圧を計測し、表示及び管理を行いませんので、ダイバーご自身で残圧計を用いてチェックして下さい。

●本製品で使用しているバッテリー(二次電池)を取り外した場合は、誤って飲み込んでしまうことがないようにして下さい。特に小さなお子様にご注意ください。バッテリーは小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠️ 注意

●本体およびバンドの金属部分は、汚れから錆びが発生し、衣服の袖口を汚すことがありますので、常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後、放置しておくると錆び易くなります。

●本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によっては、かぶれを起こす恐れがあります。

①金属・樹脂に対するアレルギー

②製品の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など

③体調不良など

・バンドをきつく締めると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますので、かぶれ易くなります。普段使いでは、バンドに余裕をもたせてご使用ください。

・万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

●本製品に記憶させたログデータ等の内容は、通信にて保存するか、ノートなどに書くなどして、必ず控えを残してください。本製品の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。

●本製品に表示される情報の確認は、思わぬ怪我や事故の予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特にダイビング中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

●思わぬ怪我やアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は本製品を外すなど十分にご注意ください。

●幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、本製品を外すなど十分にご注意ください。

●本体（裏ふたを含む）やバンドに製品保護シールが貼ってある場合は、ご使用になる前に必ず剥がしてください。シールを剥がさずにご使用になると、「本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、錆びやかぶれの原因となることがあります。

●オートライト作動状態のとき、本製品を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険です。お止めください。交通事故の原因となることがあります。

目次

1. はじめに	3
2. このダイブコンピュータの特徴	4
3. 安全上のご注意	5
4. ご使用になる前に	13
4-1. 充電量の確認.....	13
4-2. 光で充電(ソーラー充電).....	13
4-3. 充電するには.....	13
4-4. 充電不足や充電切れ.....	14
4-5. 充電にかかる時間.....	15
4-6. 充電レベル警告.....	15
4-7. 節電(パワーセービング機能).....	16
5. モードの種類と切り替え	17
5-1. 各モードで出来ること.....	17
5-2. ボタン操作とモードの切り替え.....	18
6. 各種設定の仕方	20
6-1. ホーム都市、サマータイムを設定する.....	22
6-2. 12時間制、24時間制の選択.....	24
6-3. 時計と日付の合わせ方.....	25
6-4. ボタン操作音の設定/解除.....	26
6-5. 点灯時間を切り替える.....	27
6-6. 節電(パワーセービング機能)の設定/解除.....	28
6-7. 使用単位(UNIT)の設定.....	29
6-8. MMDD/DDMM表示の設定.....	30
6-9. ダイブモードのメイン表示の設定.....	31
6-10. オートライトの設定/解除.....	32

7. 時計モード / サーフェスモード (TIME)	33
7-1. サーフェスモードの表示内容	34
8. ダイブモード (DIVE)	35
8-1. ダイブモードへの切り替え方法	35
8-2. 無減圧潜水	36
8-3. セーフティストップ (安全停止) 表示	37
8-4. 減圧潜水	38
8-5. ダイビング中の警告	39
8-6. ガス酸素濃度確認 / ガス切替	42
9. ログモード (LOG)	43
9-1. ダイブヒストリーを確認する	43
9-2. ダイブヒストリ潜水本数訂正機能	44
9-3. ダイブログを確認する	44
9-4. ログに保存される警告	48
9-5. ダイブプロファイルサンプリングタイムの設定	48
9-6. 体内酸素量 / 酸素分圧プロファイル保存設定	49
9-7. ダイブプロファイルを確認する	49
10. プランモード (PLAN)	52
10-1. 酸素濃度を設定する	52
10-2. ナイトロックス (EANx) ダイビング	53
10-3. 酸素濃度のデフォルト機能	53
10-4. セーフティファクターを設定する	54
10-5. 深度インターバルアラームの設定	55
10-6. 最大深度アラームの設定	56
10-7. ダイビングを計画する	57
10-8. OTU (UPTD) 肺酸素中毒指標の表示	57

1 1. 方位計測 (COMP)	58
1 1-1. 方位を計測する	58
1 1-2. 方位を補正する	58
1 1-3. 方位計測のご注意	60
1 2. ストップウォッチ (STW)	61
1 2-1. ストップウォッチモードを選ぶ	61
1 2-2. 計測する	61
1 3. タイマー (TMR)	62
1 3-1. タイマーモードを選ぶ	62
1 3-2. 計測時間を設定する	62
1 3-3. 計測する	63
1 3-4. タイムアップ音を止める	63
1 4. アラーム・時報 (ALM)	63
1 4-1. アラームモードを選ぶ	63
1 4-2. アラーム時刻を設定する	64
1 4-3. アラーム・時報のオン/オフ	64
1 4-4. アラーム音を止める	65
1 5. ワールドタイム (WT)	65
1 5-1. ワールドタイムモードを選ぶ	65
1 5-2. 他のタイムゾーンの時刻を見る	65
1 5-3. サマータイム (DST) の設定	66
1 6. ソーラー充電量表示 (SLR)	66
1 7. ライト	67
1 7-1. ボタンを押して点灯させる	67
1 7-2. 自動的に点灯させる (オートライト)	67

18. フリーダイビングモード	68
18-1. フリーダイビングモードの切替.....	68
18-2. フリーダイビングモードの終了.....	68
18-3. フリーダイビング画面.....	68
18-4. フリーモードのボタン操作.....	69
19. ゲージモード	70
19-1. ゲージモードの設定.....	70
19-2. ゲージモードダイビング.....	71
20. Bluetooth データ転送モード (BLE)	72
21. 故障かな?と思ったときは	74
22. 製品仕様	77
23. ご使用上の注意	78
24. お手入れについて	80
25. UTC(協定世界時)とタイムゾーン	83
26. 都市コード一覧表	83

4. ご使用になる前に

本製品をお使いになる前に、「充電」と「時刻・日付の設定」が必要です。十分に充電し、時刻と日付の表示を合わせてからお使い下さい。

4-1. 充電量の確認

画面下部の [H][M][L] で充電状態を確認して下さい。

[H] または [M] が点灯している	十分に充電されています。 「都市の設定と時計の合わせ方」に進んで下さい。
[LOW] の文字が点滅している [L] が点滅している [CHG] の文字が点滅している	充電不足です。 時計を光に当て、充電して下さい。

4-2. 光で充電 (ソーラー充電)

このダイブコンピュータは、ソーラーパネルで発電した電気を充電したバッテリー (二次電池) で動作します。

- ・ソーラーパネルは文字板と一体になっています。
 - ・文字板に十分な光が当たっている時に、発電と充電をします。
- ご使用の際は、文字板 (ソーラーパネル) に光を当てるように心がけて下さい。

4-3. 充電するには

時計を腕から外している時は、光が当たる明るい場所に置いて下さい。1 ヶ月に 1 回、半日ほど日光に当てて充電すると、より安定した状態で使用できます。

腕につけている時は、文字板 (ソーラーパネル) に衣類の袖がかからないように心がけて下さい。

文字板 (ソーラーパネル) が一部でも隠れていると発電効率が低下します。



- 充電の際、光源の条件や環境によっては本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意して下さい。また、以下のような高温下での充電は避けて下さい。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯などの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり、高温になる所
- 極端な高温下では液晶パネルが黒くなるがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

4-4. 充電不足や充電切れ

バッテリー(二次電池)の充電量は画面下部の[H][M][L]で確認します。

・充電量が低下すると、使用できる機能が制限されます。

充電不足になった時は、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて充電して下さい。



表示	充電状態	Z1の状態
H	良好	通常 (図1)
M	ほぼ良好 (充電推奨)	通常 (図2)
M CHGだけ点滅	充電不足 (充電レベル警告)	[CHG]の文字だけが点滅し、その他の表示が通常通り点灯している場合は、約5時間程度ダイブモードに移ることができます。その後はCHG点滅がなくなるまでダイビングできません。その他の機能は、通常通り使用可能です。(図3)
LOW or L点滅	充電不足	[LOW]と[L](場合によっては[L]のみ)が点滅している場合は、以下の機能が使用できなくなります。方位計測、ライト点灯、音(アラームなど)、ダイブモードへの遷移(図4)
CHGだけ 点滅 (全消灯)	充電不足	[CHG]だけが点滅し、その他の表示が全部消えている時は、全ての機能が使用できなくなります。画面下部の[H][M][L]と[CHG]と一緒に点滅している時は、現在時刻の表示など一部の機能を使用できます。(図5)
—	充電切れ	全ての機能停止 (図6)

▼重要

・充電切れになると機能が停止し、全ての設定は初期設定(工場出荷時)の状態に戻ります。

時刻や日付など、各種設定をする時は、画面下部の表示が[M]または[H]になるまで充電してください。

参考

・直射日光や強い光が当たる場所で充電すると、一時的に実際の充電量よりも高いレベルを表示することがあります。

4-5. 充電にかかる時間

充電の目安として下表をご活用ください。

充電量の回復に必要な時間

環境 (照度)	充電レベル警告からダイビング可能になるまでの充電時間	充電レベル警告からフル充電になるまでの時間
晴れた日の屋外など (50,000ルクス)	約1時間	約8時間
晴れた日の窓際など (10,000ルクス)	約2時間	約30時間
曇りの日の窓際など (5,000ルクス)	約4時間	約60時間
蛍光灯下の室内など (500ルクス)	約36時間

参考

- ・実際の充電時間は環境によって異なります。

4-6. 充電レベル警告

充電レベル警告とは、安全にダイビングでご使用いただくために、ある一定の電圧レベルまで充電量が下がった場合、アラームとメッセージで充電を促す機能です。

本製品は、充電レベルが [L] になるとセンサー類が動作しなくなるため、ダイビングにご使用できなくなります。例えば、充電レベルが [M] の状態でダイビングを開始し、ダイビングの途中で [L] になってしまうと、ダイビングに関する情報の表示が出来なくなってしまいます。そういった危険な状態を回避するため、ある一定の充電量を下回った場合、十分にダイビングができるまで充電を促すようにしています。

ご使用中のモード	表示警告内容
時計モードおよびサーフェスモード	[CHG] の文字が点滅表示されます
ダイブモード	[WARNING!BATT] が5回流れるように表示され、同時に画面下部の [M] マークが点滅します。 アラームが6秒間鳴ります。 その後、1分毎に [WARNING!BATT] が1回流れるように表示されます。

4-7. 節電 (パワーセービング機能)

パワーセービング機能とは、午後 10 時から午前 6 時の間に、時計を暗い場所に置いておくと自動的に節電状態になる仕組みです。

・節電状態にはレベル 1 とレベル 2 の 2 段階があります。

節電レベル	節電開始までの所要時間	状態
レベル 1	暗い場所に置いてから午後 10 時から午前 6 時の間約 1 時間	時計モードの場合は、センサー類が停止しています。
レベル 2	レベル 1 のまま 6～7 日経過	時計機能のみが作動しています。

参考

- ・ 節電状態は、以下の方法で解除します。
 - いずれかのボタンを押す
 - 時計を明るい場所に置く
 - 時計を傾ける
- ・ 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。
- ・ ストップウォッチモードまたはタイマーモード、ダイブモードの時は節電状態になりません。
- ・ パワーセービング機能は設定/解除の切り替えが出来ます。
節電 (パワーセービング機能) の設定/解除・・・P.28
- ・ 節電レベル 1 でもダイビング後 4 8 時間はセンサー動作します。

5. モードの種類と切り替え

各モードでできることとモード切り替え操作は以下の通りです。

5-1. 各モードで出来ること

モード	機能	参照ページ
時計モードおよびサーフェスモード (TIME)	<ul style="list-style-type: none">時刻、日付、曜日の表示都市、時刻、サマータイムの設定	P33
サーフェスモード (TIME)	<ul style="list-style-type: none">体内残留窒素排出時間の表示水面休息時間の表示	P34
ダイブモード (DIVE)	<ul style="list-style-type: none">減圧不要潜水時間の表示セーフティストップ表示減圧潜水時の表示ダイビング中の警告ナイトロックス (EANx) ダイビング	P35
フリーダイブモード (FREE)	<ul style="list-style-type: none">潜水時間表示前回の情報表示セッション内情報表示	P68
ログモード (LOG)	<ul style="list-style-type: none">ダイブ/フリーヒストリー表示ダイブ/フリーログの表示ダイブ/フリープロフィールの表示	P43
プランモード (PLAN)	<ul style="list-style-type: none">ダイブプランの表示セーフティファクター (SF) の設定酸素濃度の設定	P52
方位計測 (COMP)	<ul style="list-style-type: none">方位や角度の計測	P58
ストップウォッチ (STW)	<ul style="list-style-type: none">経過時間の計測	P61
タイマー (TMR)	<ul style="list-style-type: none">タイマーの設定、計測	P62
アラーム (ALM)	<ul style="list-style-type: none">アラーム時刻の設定アラームのオン/オフ時報のオン/オフ	P63
ワールドタイム (WT)	<ul style="list-style-type: none">世界 48 都市 (31 タイムゾーン) の時刻を表示	P65
ソーラー充電量表示 (SLR)	<ul style="list-style-type: none">現在の充電量を表示充電予測時間の表示	P66
Bluetooth データ転送モード (BLE)	<ul style="list-style-type: none">データ / 設定通信通信状態表示通信設定	P72

5-2. ボタン操作とモードの切り替え

本製品は、4つのボタン(A/M/L/P)で操作します。各ボタンの役割を覚えると統合的な操作が可能になります。

ADJUST ボタン

基本的に各モードで設定を変更する時に使用します。

MODE ボタン

このボタンを押す毎に、

時刻 (TIME) → Bluetooth データ転送 (BLE) → 方位 / 方位角度 (COMP) → ストップウォッチ (STW) → タイマー (TMR) → アラーム (ALM) → ワールドタイム (WT) → ソーラー充電量表示 (SLR) の各モードに切替ります。また、時計表示以外でこのボタンを長押しすると時計表示に戻ることができます。

参考

- ボタン操作音が設定されているときは、MODE ボタンを押す毎に音が鳴ります。時刻モードに戻る時は、高い音が鳴ります。
ボタン操作音の設定／解除・・・P.26
- 充電量が不足しているときは音が鳴りません。ボタン操作音が設定されているのに音が鳴らない時は充電してください。
充電するには・・・P.13

LIGHT/LOG ボタン

このボタンを押すと、LED ライトを点灯します。時計モードから長押しするとログモードに切替ります。

ダイブログの表示・・・P.44

自動的に点灯させる (オートライト)・・・P.67

ご注意：オートライトに設定すると頻繁にライトが点灯する状態となり、二次電池の容量は早く減ります。

- 充電量が不足しているときにはLED ライト点灯しませんので、その場合には充電してください。

充電するには・・・P.13

※ LED/LOG + PLAN ボタンを長押し (約 2 秒) するとダイブモードに手動で切り替えられます。・・・P.35

また、再度 LED/LOG + PLAN ボタンを長押し (約 2 秒) するとフリーダイブモードに切り替えられます。・・・P.68

PLAN ボタン

このボタンを押すと、プランモードにダイレクトに切替ります。

ダイブプランの表示・・・P.52

6. 各種設定の仕方

①時計モードまたはサーフェスモードで、ADJUST ボタンを約2秒間押し続けます。

[SET][Hold] が点滅した後、約1秒間の [CITY] の表示に続いて、

都市コードと都市名(英語)が流れるように表示されたら指を離します。

参照 ホーム都市、サマータイムの設定・・・P.22

▼重要

・ホーム都市を設定する前に他の設定をしないで下さい。

②MODE ボタンを押して、設定する項目を選びます。

MODE ボタンを押す毎に以下の順序で設定項目が切り替わります。

ホーム都市→1. サマータイム→2.12/24 時間制→3. 秒→4. 時→5. 分→6. 年→7. 月→8. 日→9. 操作音→10. ライト点灯時間→11. 節電(パワーセービング)→12. 使用単位 (UNIT) →13.MMDD/DDMM →14. ダイブモードのメイン表示→15. オートライト

参考

- ・上図の数字は、MODE ボタンを押す回数を示します。
- ・使用単位 (UNIT)、MMDD/DDMM の設定は、ホーム都市が東京 (TYO) に設定されていたらダイブモードのメイン表示に進みます。
- ・使用単位 (UNIT) の設定は、デフォルトで摂氏(°C)およびメートル(m)が選択されています。

参照 使用単位 (UNIT) の設定・・・P.29

ボタン操作音の設定/解除・・・P.26

ライト点灯時間を切り替える・・・P.27

節電(パワーセービング機能)の設定/解除・・・P.28

ダイブモードのメイン表示の設定・・・P.31

③ LED/LOG または PLAN ボタンを押して、以下の設定を変更します。

表示 (例)	変更項目	操作
TYO	都市コード変更	PLAN または LED/LOG ボタンを押す
OFF	サマータイムとスタンダードタイムを切り替え	PLAN ボタンを押す
12H	12時間制 (12H) と 24時間制 (24H) を切り替え	PLAN ボタンを押す
50	秒を「00」にリセット 30～59秒の時は、1分繰り上がりま す	PLAN ボタンを押す
1058	「時」「分」の変更	PLAN または LED/LOG ボタンを押す
2016	「年」の変更	PLAN または LED/LOG ボタンを押す
6-30	「月」「日」の変更	PLAN または LED/LOG ボタンを押す
Key ♪	操作音の ON/OFF の変更	PLAN ボタンを押す
LIGHT	バックライト点灯時間の設定	PLAN ボタンを押す
POWERSAVING	パワーセービングの ON/OFF	PLAN ボタンを押す
UINT	使用単位の設定	PLAN または LED/LOG ボタンを押す
MMDD	MMDD/DDMM 表示設定	PLAN ボタンを押す
DISP	ダイブモードのメイン表示設定	PLAN ボタンを押す
LT	オートライトの設定	PLAN ボタンを押す

④ ADJUST ボタンを押します。
設定が完了します。

6-1. ホーム都市、サマータイムを設定する

ホーム都市は、都市コード一覧表の48都市(31タイムゾーン)の中から、本製品を使用する場所と同じタイムゾーンの都市を設定します。また、使用する国や地域に応じてスタンダードタイムまたはサマータイム(DST)の設定をします。

参照 UTC(協定世界時)とタイムゾーン・・・P82

参照 都市コード一覧表・・・P83

▼重要

日本で使用する場合は、ホーム都市を東京(TYO)に設定します。

参考

サマータイムとは、DST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻(スタンダードタイム)から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

設定方法

①時計モードまたはサーフェスモードで、ADJUST ボタンを2秒以上押し続けます。

[SET][Hold] が点滅した後、約1秒間の[CITY]の表示に続いて、都市コードと都市名(英語)が流れるように表示されたら指を離します。

- ・2～3分間何も操作しないと、自動的に設定画面を終了します。



- ② PLAN または LED/LOG ボタンを押して、都市を選びます。
- 設定したい都市を表示するまで、PLAN または LED/LOG ボタンを押し続けると早送りできます。
- ③ MODE ボタンを押します。
- ④ PLAN ボタンを押して、サマータイム (DST) の設定を選びます。
PLAN ボタンを押す毎に以下のように設定が切り替わります。
- | | |
|---------|------------------|
| DST OFF | スタンダードタイムを表示します。 |
| DST ON | サマータイムを表示します。 |
- ⑤ ADJUST ボタンを押します。
設定が完了しました。
- サマータイムを設定すると、時計モード及びサーフェスモードの画面に [DST] を表示します。
- 参考
- ホーム都市を [UTC] に設定しているときは、サマータイム (DST) の設定は切り替えできません。

6-2. 12時間制、24時間制の選択

時計表示の12時間制、24時間制を選択します。

12時間制に設定したときは、正午から午後11:59まで、午後を示す[P]が点灯します。24時間制の場合は[P]は点灯しません。



設定方法

各種設定の仕方 (P20) に従って、12時間制、24時間制選択画面を開きます。

① PLAN ボタンを押すごとに 12H、24H の文字が切り替わり表示されますので、12時間制表示の場合は 12H を、24時間制表示の場合は 24H を選択します。

② ADJUST ボタンを押すと設定が完了して、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。また、時計の秒設定に移る場合は、MODE ボタンを押します。

6-3. 時計と日付の合わせ方

- 日付の設定は、月ごとの日数の違いや、うるう年にも対応しています。(～2099年フルオートカレンダー)
- 年月日を設定すると自動的に曜日も設定されます。
- ホーム都市以外で使用するときは、同様に滞在する都市をホーム都市に設定し直してください。

設定方法

各種設定の仕方(P20)に従って、秒の設定画面を開きます。画面右下に、現在の秒が点滅表示されます。

- ① PLAN ボタンを押すと 00 秒にリセットされます。※ 30～59 秒の時は、1 分繰り上がります。
- ② 以下同様の手順で、MODE ボタンを押して、時→分→年→月→日の順に切り替え、設定することができます。尚、時、分、年、月、日を設定するときは、PLAN ボタンを押すと数字が進み、LED/LOG ボタンを押すと数字が戻ります。また、どちらのボタンも押し続けると、早送りができます。
- ③ 各設定画面では、ADJUST ボタンを押すと設定が完了して、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

6-4. ボタン操作音の設定／解除

ボタンを押した時に鳴る操作音のあり／なしを選ぶことができます。デフォルトは操作音ありです。

設定方法

①時計モードまたはサーフェスモードで、ADJUST ボタンを2秒以上押し続けます。

[SET][Hold] が点滅した後、約1秒間の [CITY] の表示に続いて、都市コードと都市名(英名)が表示されたら指を離します。

② MODE ボタンを9回押します。

操作音のあり／なしを選ぶ画面になります。

・ [key ♪] または [MUTE] が表示されます。



③ PLAN ボタンを押して、[key ♪](操作音あり)または[MUTE](操作音なし)を選びます。

④ ADJUST ボタンを押します。

設定が完了して、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

参考

・ 操作音が鳴らないように設定した場合でも、アラーム音、時報、タイマー音、警告音は鳴ります。

6-5. 点灯時間を切り替える

設定方法

①時計モードまたはサーフェスモードで、ADJUST ボタンを2秒以上押し続けます。[SET][Hold] が点滅した後、都市コードと都市名(英名)が流れるように表示されたら指を離します。



② MODE ボタンを10回押します。

- 画面上に [LIGHT] が表示されます。
- 画面中段に [1] または [3] が点滅されます。

③ PLAN ボタンを押して、[1](15秒間点灯)または[3](3秒間点灯)を選びます。

④ ADJUST ボタンを押します。

設定が完了して、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

6-6. 節電 (パワーセービング機能) の設定 / 解除

設定方法

①時計モードまたはサーフェスモードで、ADJUST ボタンを 2 秒以上押し続けます。

[SET][Hold] が点滅した後、約 1 秒間の [CITY] の表示に続いて、都市コードと都市名 (英名) が流れるように表示されたら指を離します。



② MODE ボタンを 11 回押します。

画面上に [POWER SAVING] と流れるように表示され、画面中段に [On] または [OFF] が点滅します。

③ PLAN ボタンを押して、On (設定) または OFF (解除) を選びます。

④ ADJUST ボタンを押します。

設定が完了して、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

6-7. 使用単位 (UNIT) の設定

使用する単位を選びます。(デフォルトは、°Cとmです。)ホーム都市設定でTYO (TOKYO) 以外を設定している際だけ設定可能です。

設定方法

①時計モードまたはサーフェスモードで、ADJUST ボタンを2秒以上押し続けます。

[SET][Hold] が点滅した後、約1秒間の[CITY]の表示に続いて、都市コードと都市名(英名)が流れるように表示されたら指を離します。

②MODE ボタンを12回押します。

単位設定m ⇄ ft °C ⇄ °F を選択する画面になります。

・[m] または [ft]、[°C] または [°F] が点滅表示されます。



③PLAN ボタンを押して、[m] または [ft] を選びます。

④LED/LOG ボタンを押して、[°C] または [°F] を選びます。

⑤ADJUST ボタンを押します。

設定が完了して、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

6-8. MMDD/DDMM 表示の設定

月-日または日-月のいずれかの表示を選びます。ホーム都市設定でTYO (TOKYO) 以外を設定している際だけ設定可能です。デフォルトはMMDDです。

設定方法

①時計モードまたはサーフェスモードで、ADJUST ボタンを2秒以上押し続けます。

[SET][Hold] が点滅した後、約1秒間の[CITY]の表示に続いて、都市コードと都市名(英名)が流れるように表示されたら指を離します。

②MODE ボタンを13回押します。

MMDD または DDMM、及び月-日または日-月が点滅表示されます。



③PLAN ボタンを押して、MMDD または DDMM を選びます。

④ADJUST ボタンを押します。

設定が完了して、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

6-9. ダイブモードのメイン表示の設定

ダイブモード時のメイン表示を、無減圧潜水時間または水深のいずれかに切り替えて表示することが可能です。デフォルトはDEP（1）の水深表示です。

設定方法

①時計モードまたはサーフェスモードで、ADJUST ボタンを2秒以上押し続けます。

[SET][Hold] が点滅した後、約1秒間の[CITY]の表示に続いて、都市コードと都市名（英名）が流れるように表示されたら指を離します。

②MODE ボタンを14回押します。（ホーム都市設定でTYO（TOKYO）を設定している場合には12回押します。）

DEPと1（点滅表示）、またはNDLと2（点滅表示）が表示されます。DEPが水深表示、NDLが無減圧潜水時間表示です。



③PLAN ボタンを押して、DEPと1またはNDLと2を選びます。

④ADJUST ボタンを押します。

設定が完了して、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

7. 時計モード / サーフェスモード (TIME)

時計モード / サーフェスモードでは、現在の時刻と日付を設定・表示します。
参考

サーフェスモードとは、ダイビング後の体内に窒素が残っているときに表示するモードです。

通常の時計モードで表示する現在時刻、日付、曜日に加え、体内残留窒素排出時間や水面休息時間などを表示します。

時計モードの表示内容

時計モードは、現在時間、秒、日付、曜日に加え、ワールドタイムモードでUTC以外を設定していた場合にはワールドタイムを24時間表示で表示します。ただし、プランモードにて各ガスの酸素濃度を22%以上に設定されている場合には設定されている酸素濃度の最大値を%点減表示します。ワールドタイムと酸素濃度では酸素濃度表示が優先されます。



7-1. サーフェスモードの表示内容

サーフェスモードは、ダイビング後、体内に窒素が残っているときに表示するモードです。

通常の時計モードで表示する現在時刻、日付、曜日に加え、体内残留窒素排出時間や水面休息时间を表示します。ただし、プランモードにて各ガスの酸素濃度を 22% 以上に設定されている場合には設定されている酸素濃度の最大値を % 表示と水面休息时间を交互表示します。

サーフェスモードではその他、以下の情報が表示されます。

飛行機搭乗禁止マーク	飛行機搭乗を禁止します。
体内窒素量インジケータ	体内に蓄積された窒素量の危険度を 10 段階で表示
体内酸素量または酸素分圧インジケータ	体内に蓄積された酸素量の危険度を 10 段階で表示



参考

- 体内に残留している窒素や酸素がある状態でも、ダイブ後 48 時間経過すると自動で時計モードに変わります。
- 飛行機搭乗禁止マークは、18 時間経過すると解除します。体内に残留している窒素や酸素が無くなって時計モードに切り替わっても、18 時間経過するまでは点灯しています。
- 体内窒素排出時間は気圧の変化によって変化します。よって、カウントダウンタイマーではありません。



警告

飛行機の搭乗について

以下の状態では、絶対に飛行機に搭乗しないで下さい。減圧症に罹患する危険性が高まります。また、海水面よりかなり高い場所(山岳路)にもいかないようにしてください。

- 飛行機搭乗禁止マークが点灯しているとき
- 体内残留窒素排出時間 (DESAT) が残存しているとき

8. ダイブモード (DIVE)

ダイブモードでは、スキューバダイビング時に必要とされる重要な情報を表示します。

8-1. ダイブモードへの切り替え方法

本製品は、入水して、水深 16m 相当の圧力を感知してから最大 20 秒後にダイブモードに自動的に切り替わります。入水時に速やかにダイブモードに切り替えたい場合は、LED/LOG + PLAN ボタンを同時に長押し (約 2 秒) して、手動で切り替えてください。

参考

- 16m 以深に潜行すると潜水開始と判断し、潜水時間のカウントを開始します。
- LED/LOG + PLAN ボタンを同時に長押し (約 2 秒) する操作を繰り返すと、フリーダイブモード (P.68) を経て、サーフェスモード (時計モード) に切り替わります。また、ダイブモードに切り替えて 1 分以内に潜水開始しない場合は、サーフェスモード (時計モード) に切り替わります。

8-2. 無減圧潜水

無減圧潜水のときは、以下の情報が表示されます。

無減圧潜水時間 (NDL)	無減圧のまま現在水深に滞留可能な時間 ※最大 200 分
現在水深	現在の水深 1.6m から 0.1m 単位で表示 ※最大 99.9m
最大水深 (MAX)	潜水開始してからの最大水深表示 ※最大 99.9m
水温	現在の水温表示
現在時刻	現在時刻表示 12H 表示設定の場合にはp マーク無
潜水時間	潜水開始から経過した時間 ※最大 599 分
酸素濃度	現在の酸素濃度
体内窒素量 インジケータ	体内に蓄積された窒素量の危険度を 10 段階で表示
体内酸素量または 酸素分圧インジケータ	体内に蓄積された酸素量の危険度を 10 段階で表示 または、現時点での酸素の有害度を 10 段階で表示 ※危険度の高い方を表示
方位および方位角度	参照 方位計測・・・P58
ストップウォッチ	経過時間を 0.1 秒単位まで表示。参照・・・P61

参考

酸素濃度はダイブモード開始 10 秒間、または、水温と切替表示となります。ADJUST ボタン長押しして酸素濃度確認画面を確認後、再度 ADJUST ボタンを押して切り替え可能となります。最大水深、現在時刻も切り替え表示となります。切替表示はそれぞれの固定表示と 1 秒毎自動切換えの 3 モードとなります。



8-3. セーフティストップ(安全停止)表示

本製品には、「安全停止」を推奨するための機能を搭載しています。水深10m以深に潜水した後、無減圧潜水状態で浮上すると、水深6m時点から3分間のタイマーが自動作動し、水深1.6m～6mに滞留している間、継続します。この3分間のカウントダウンが終了するまでは、水面に浮上しないで「安全停止」を行うことを推奨します。

- ①水深6m時点で、セーフティストップ作動音が「ピピピピッ」と鳴ります。水深とSTOPマークが交互表示します。
- ②カウントダウンタイマー(03:00)が表示され、3分間のタイマーが作動します。
- ③3分経過時点で、「↑OK」が5秒間表示されますので、水面へ浮上を開始してください。

セーフティストップ作動時の水深による動作変化

水深	カウントダウン動作	画面上の表示
1.6m 以浅	リセット	サーフェスモード画面
1.6m～6.0m	通常動作	セーフティストップ作動画面
6.1m～9.9m	ストップ(値は保持)	無減圧潜水画面
10m 以深	リセット	無減圧潜水画面



セーフティストップ終了イベント

- ・3分経過したとき
- ・水深1.6m以浅に浮上したとき
- ・水深10m以深へ再潜行したとき

8-4. 減圧潜水

減圧潜水のときは、
以下の情報が表示されます。

参考図



減圧停止水深	減圧停止を行う深度 3m 間隔で潜水状況に応じて表示されます。
DECO	減圧停止マーク 無減圧限界時間を超過したときに点灯
現在水深	現在の水深 16m から 0.1m 単位で表示 ※最大 99.9m
潜水経過時間	潜水開始から経過した時間 ※最大 599 分
体内窒素量インジケータ	体内に蓄積された窒素量の危険度を 10 段階で表示
体内酸素量または 酸素分圧インジケータ	体内に蓄積された酸素量の危険度を 10 段階で表示 または、現時点での酸素の有害度を 10 段階で表示 ※危険度の高い方を表示
トータル浮上時間 (TOTAL)	減圧停止時間を含め、適切な浮上スピードで現在水深から水面まで浮上するのに必要な時間
減圧停止時間	その減圧水深で減圧必要な時間
最大水深 (MAX)	潜水を開始してから一番深い深度 ※最大 99.9m
現在水温	現時点での水温を表示
現在時刻	現在時刻を時分で表示
酸素濃度	現在の酸素濃度表示
方位および方位角度	参照 方位計測・・・P58
ストップウォッチ	経過時間を 0.1 秒単位まで表示。参照・・・P61

参考

トータル浮上時間は3秒間表示して、最大水深または現在時刻を3秒間表示します。最大水深または現在時刻は ADJUST ボタンを押して切り替えます。水温または酸素濃度も同様に ADJUST ボタンを押して切り替えますが、酸素濃度は一度 ADJUST ボタンを長押ししてガス酸素濃度確認を行う必要があります。

8-5. ダイビング中の警告

浮上速度警告

浮上速度をモニターし、設定速度を超えて浮上したときに警告します。

本製品の設定浮上速度は、10m/分です。



- 浮上速度が10m/分を超過したとき、メイン表示部に[SLO]の警告文字が表示され、6秒間点滅します。アラームが6秒間鳴ります。
- 2回浮上速度警告で警告が発生したときは、ダイブログに記録されます。

減圧潜水警告

ダイビング中に無減圧潜水時間を超過、減圧停止が必要になったときに警告します。



- DECO マークが点灯し、体内窒素量インジケータが点滅します。
- アラームが6秒間鳴ります。
- 減圧潜水の表示に自動で切り替わります。
- 指示された減圧停止水深で減圧停止を終了させると、DECO マークが消灯、体内窒素量インジケータが点灯に切り替わり、減圧不要潜水となります。
- 1回でも警告が発生すれば、ダイブログに記録されます。

減圧停止指示違反警告

減圧停止警告中に、現在水深が減圧停止指示水深よりも浅いときに警告します。

停止範囲 $-0.5\text{m} < \text{減圧停止指示水深} < +1\text{m}$



- ・ 現在水深が減圧停止指示水深より浅いとき、↓ DOWN の警告文字が流れます。
- ・ DECO マークが点滅し、アラームが6秒間鳴ります。
- ・ 減圧停止指示水深に戻れば、自動的に警告が解除されますが、戻らないときは警告が続きます。
- ・ 1回でも警告が発生すれば、ダイブログに記録されます。

減圧停止は指示された深度で行ってください。指示よりも浅い深度での減圧停止は行わないで下さい。海況により、どうしても指示された深度を守れない場合は、1～2m 深い深度で行ってください。

減圧停止指示を無視して浮上した場合、減圧症になる危険性が高くなるため、1分毎に“ピピ”とブザーが鳴り、3分経過すると、その後48時間経過するまでダイビングでの使用ができません。その間、現在時刻、DECO マーク、体内窒素インジケータが点滅表示してロック中であることを警告します。

計測範囲外警告

以下の条件にあてはまる場合、計測範囲外を警告します。

- ①深度が 99.9m を超過したとき
- ②潜水時間が 599 分を超過したとき
- ③減圧潜水時に、33m 以深で減圧停止が必要なとき
- ④減圧潜水時に減圧停止時間が 99 分を超過、またはトータル浮上時間が 99 分を超過したとき



- ・メイン7セグ表示部にEEEEマークを点灯し、アラームを3秒間鳴らします。
- ・警告発生後、48時間経過するまでダイビングでの使用ができません。(②潜水時間599分の場合を除く)
- ・1回でも警告が発生すれば、ダイブログに記録されます。
- ・サーフェスモードになってから48時間は、ダイビングで使用できません。その間、メイン7セグ表示部にEEEEマークと現在時刻を交互表示し、ロック中であることを警告します。

体内酸素量及び酸素分圧警告

体内酸素量が許容範囲を超えるか、酸素分圧が 1.4bar 以上になったとき警告します。

※危険度の高い方が有効になります。(図は酸素分圧警告)



- ・体内酸素量、酸素分圧インジケータが点滅し、アラームが6秒間鳴ります。
- ・体内酸素量または酸素分圧が正常範囲に戻るまで警告が続きますので、速やかに適切なスピードで浅い水深へ移動してください。
- ・1回でも警告が発生すれば、ダイブログに記録されます。

9. ログモード (LOG)

時計モード及びサーフェスモードで使用できます。30本分のダイブログ(フリーダイビングでは1セッション)を最新のものから表示します。ダイブログとフリーダイブセッションログは時系列に混在して保存されます。

30本以降は、ダイビング毎に新しいデータを記録し、最古のデータから削除されます。

簡易的なダイブプロフィールが確認できますので、潜水時間の経過に伴う深度変化を知ることが可能です。

また、ダイブログの最後にダイブヒストリーとフリーダイブヒストリが表示され、累計データが確認できます。

参考

- ログモードに記録されるダイビングとは、1.6m以深に3分間以上潜水することを指します。

9-1. ダイブヒストリーを確認する

①ログモードにします。

時計モードまたはサーフェスモードでLED/LOG ボタンを2秒程度長押しします。

画面に [LOG] が表示され、約1秒後にログモードに切り替わります。

参照 ボタン操作とモードの切り替え・・・P.18

ログモードに切り替わると、最新のダイブログが表示されます。

②もう一度LED/LOG ボタンを押します。

画面に [HIST] が表示され、約1秒後にダイブヒストリー (DHIST) が表示されます。

トータル潜水回数	自動累計されたダイビング回数
トータル潜水時間	自動累計されたダイビング時間
最大水深	これまでのダイビングで一番深く潜った時の水深
最長潜水時間	これまでのダイビングで一番長く潜水した時間(分)



9-2. ダイブヒストリ潜水本数訂正機能

ダイブヒストリの総本数をご自分の経験本数に合わせることでログ No の表示もあわせることが可能です。設定方法は、ダイブヒストリ (DHIST) 表示している時に、ADJUST ボタンを押しながら LED/LOG ボタンを同時に押すと総潜水本数が点滅表示になります。LED/LOG ボタンか PLAN ボタンにて潜水本数を増減させて本数を設定します。最後に ADJUST ボタンを押すと更新が完了します。

もう一度 LED/LOG ボタンを押すとフリーダイブヒストリ (FHIST) が表示されます。

トータル潜水回数	自動累計されたダイビング回数
トータル潜水時間	自動累計されたダイビング時間
最大水深	これまでのダイビングで一番深く潜った時の水深
最長潜水時間	これまでのダイビングで一番長く潜水した時間 (分'秒)



9-3. ダイブログを確認する

ログは LOG L-1, L-2 の 3 つの画面から構成されています。

LOG 画面での表示情報

ログ No.	ログ番号 1~9999 最新ダイブ ログが大きい番号で表示
潜水日時	ダイビングを行った年月日 交互表示
DIVE/GAUGE	DIVE、GAUGE、1日のダイブ回数 ドットイメージ (LOG 図内の丸参照。図では2ドット=その日2回目のダイビング)
潜水開始時間	ダイビングを開始した時刻
潜水終了時間	ダイビングを終了した時刻
終了時 体内酸素量	ダイビング終了時の体内酸素 (10段階) (※1)
終了体内酸素量 または酸素分圧	ダイビング終了時の体内酸素量 または 酸素分圧 (10段階) (※1)



L-1 画面での表示情報

平均水深	そのダイビングの平均した水深
DIVE/ 警告 / GAUGE	警告、警告ない場合 DIVE、GAUGE
潜水時間	ダイビング開始から終了までの時間
最大水深	そのダイビングで一番深く潜った時の水深
最深水温	そのダイビングで一番深い位置の水温
最大体内窒素量	そのダイビングで最大の体内窒素量 (10段階) (※1)
最大酸素分圧	そのダイビングで最大の酸素分圧 (10段階) (※1)



L-1

L-2 画面での表示情報

セーフティ ファクター	そのダイビングのセーフティファクター設定 (※1)
使用酸素濃度 / GAUGE	そのダイビングで使用した最後のガスの酸素濃度 (※1)
CNS	中枢神経酸素中毒を予防するための制限値に対する比率 (※1)
OTU	そのダイビング中の肺酸素中毒の指標 (※1)



L-1

(※1) はゲージモードでは表示なし。

フリーダイブログは以下の情報が表示されます。

LOG 画面での表示情報

セッション No.	セッション番号1～9999 最新セッション番号が大きい番号で表示
セッション 開始日時	セッション開始した年月日 交互表示
FREE	フリーダイブモード
セッション 開始時間	フリーダイビングセッション 開始した時刻
セッション 終了時間	フリーダイビングセッション終了した時刻・セッション内回数 交互表示



LOG

L-1 画面での表示情報

平均水深	セッション内の平均水深
DEEP	タイトル
最深 ダイブ時間	セッション内の最深ダイブ時の ダイビング開始から終了までの時間
最深時の 水深	そのダイビングで 一番深く潜った時の水深
最深時の 水温	そのダイビングで 一番深く潜った時の水温



L-1

L-2 画面での表示情報

総ダイブ時間	セッション内の総ダイビング時間
LONG	タイトル
最長 ダイブ時間	セッション内の最長ダイブ時の ダイビング開始から終了までの時間
最長時の 水深	そのダイビングで 一番長く潜った時の水深
最長時の 水温	そのダイビングで 一番長く潜った時の水温



L-2

①ログモードにします。

時計モードまたはサーフェスモードでLED/LOG ボタンを2秒程度長押しします。

画面に [LOG] が表示され、約1秒後にログモードに切り替わります。

参照 ボタン操作とモードの切り替え・・・P.18

ログモードに切り替わると、最新のダイブログが表示されます。

FREE と表示されている場合にはフリーダイビングログ、それ以外はダイブログが表示されます。

②PLAN ボタンを押す度に、新しいダイブログから新しい順に呼び出されます。

LED/LOG ボタンを押す度に、逆に古いダイブログから古い順に呼び出されます。

PLAN ボタンまたはLED/LOG ボタンを押し続けると早送りできます。

※ダイブログの最後(最古ログの次、最新ログの前)はダイブ履歴データとフリーダイブ履歴データです。

参考

ダイブ履歴の表示・・・P.43

③詳細を確認したいダイブログを画面に表示し、ADJUST ボタンを押します。

画面に [L-1] が表示され、約1秒後にL-1の情報が表示されます

再度ADJUST ボタンを押すと、画面に [L-2] が表示され、約1秒後にL-2の情報が表示されます。

④LED/LOG ボタンまたはPLAN ボタンを押すと、1つ新しいログまたは1つ古いログが呼び出されます。

MODE ボタンを長押し(約2秒)すると、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

[SET][Hold][TIME] が点滅した後、[TIME] が表示されたら指を離します。

9-4. ログに保存される警告

警告は以下の7種類があります。

浮上速度警告	↑ SLOW	浮上速度が10m/分を超えて浮上し、2回連続で警告されたとき
減圧潜水警告	DECO マーク 点灯	ダイビング中に無減圧潜水時間を超え、減圧停止が必要になったとき
減圧停止違反警告	↓ DOWN	減圧停止警告中に、現在水深が減圧停止指示水深よりも浅いとき
酸素分圧警告	!! PO2	酸素分圧が1.4以上になったとき
体内酸素量警告	!! O2	体内に蓄積された酸素量が危険値を超過したとき
計測範囲外警告	LIMIT	①深度が99.9mを超過したとき ②潜水時間が599分を超過したとき ③減圧潜水時に、33m以深で減圧停止が必要とき ④減圧潜水時に減圧停止時間が99分を超過、またはトータル浮上時間が99分を超過したとき
最大水深警告	DEEP	あらかじめ設定した最大水深警告の水深を越えたとき

9-5. ダイブプロファイルサンプリングタイムの設定

ダイブプロファイルのサンプリングタイムは、デフォルト20秒間隔ですが、10/20/30/60秒から選択が可能です。サンプリング時間を短くするとダイブ時間毎に保有するデータ量が増えるため、全体で保有するプロファイルの時間が短くなります。サンプリングタイム20秒で約80時間分のプロファイルデータを保有できますが、10秒にすると半分の約40時間分のデータを保有できることとなります。

設定は、ダイビングログデータ表示中にADJUSTボタンを2秒程度長押しするとサンプリングタイム設定画面に切り替わりますので、LED/LOGボタンか、PLANボタンを押して設定を変更してください。ADJUSTボタンを押すと設定が更新されます。



9-6. 体内酸素量 / 酸素分圧プロファイル保存設定

プロファイルデータに体内酸素量 / 酸素分圧のデータを保存するしないを選択が可能です。(デフォルト保存しない) プロファイルのデータは体内酸素量 / 警告 / ガス切替時の酸素濃度のデータを共通で使用しており、体内酸素量 / 酸素分圧を保存すると体内酸素量と体内酸素量 / 酸素分圧のデータを交互に保存することとなるので、体内酸素量の記録情報量が約半分となります。(データの無い部分は補完して表示)



設定は、ダイビングログデータ表示中に ADJUST ボタンを 2 秒程度長押しするとサンプリングタイム設定画面に切り替わりますので、MODE ボタンを押して体内酸素量 / 酸素分圧プロファイル保存設定画面に切り替えます。PLAN ボタンを押して設定を変更してください。ADJUST ボタンを押すと設定が更新されます。

9-7. ダイブプロファイルを確認する

ダイブログ表示している際、そのログの詳細なプロファイル情報を表示できます。

① ログモードにします。

時計モードまたはサーフェスモードで LED/LOG ボタンを 2 秒程度長押しします。

画面に [LOG] が表示され、約 1 秒後にログモードに切り替わります。

参照 ボタン操作とモードの切り替え・・・P.18

ログモードに切り替わると、最新のダイブログが表示されます。

② LED/LOG ボタンを押す度に、新しいダイブログから新しい順に呼び出されます。

PLAN ボタンを押す度に、逆に古いダイブログから古い順に呼び出されません。

LED/LOG ボタンまたは PLAN ボタンを押し続けると早送りできます。

※ダイブログの最後(最古ログの次、最新ログの前)はダイブ履歴データです。

参考 ダイブ履歴の表示・・・P.43

③プロフィールを確認したいダイブログを画面に表示し、MODE ボタンを押します。

画面に [PROF] が表示され、約 1 秒後にプロフィール画面が表示されます。表示は設定間隔毎の表示を 1 秒間隔でダイビング開始からダイビング終了まで行います。水深グラフは一番最後のデータまで表示するとスクロール表示します。

MODE ボタン以外を押すと自動表示が停止します。

経過時間	ダイビング開始からの経過時間を表示 分'秒
水深グラフ	20 秒間隔で 7 分間の水深軌跡を表示
水深	表示している経過時間時点の水深を表示
警告 / 酸素濃度	警告発生した場合には警告を、ガス切替を行った場合は切替えた酸素濃度を表示
水温	表示している経過時間時点の水温を表示
体内窒素量	表示している経過時間時点の体内窒素量を 10 段階で表示
体内酸素量 / 酸素分圧	表示している経過時間時点の体内酸素量または酸素分圧を 10 段階で表示 (デフォルトでは表示無)



警告一覧

浮上速度警告	SLO	浮上速度が 10m/分を超えて浮上し、2 回連続で警告されたとき
減圧停止違反警告	dn	減圧停止警告中に、現在水深が減圧停止指示水深よりも浅いとき
酸素分圧警告	PO2	酸素分圧が 1.4 以上になったとき
体内酸素量警告	O2	体内に蓄積された酸素量が危険値を超過したとき
最大水深警告	dEP	あらかじめ設定した最大水深警告の水深を越えたとき

④ PLAN ボタンを押す度に、サンプリング間隔のデータが更新され、経過時間が進みます。

LED/LOG ボタンを押す度に、サンプリング間隔のデータが更新され、経過時間が戻ります。

PLAN ボタンまたは LED/LOG ボタンを押し続けると早送りできます。

⑤ MODE ボタンを押すと [LOG] が表示され、ダイブプロフィール表示から抜けれます。

フリーダイブログのプロファイルを確認する

フリーダイビングログはフリーダイビングのセッションの情報を表示しています。そのセッション内で個々の情報を表示することができます。

① ログモードにします。

時計モードまたはサーフェスモードで LED/LOG ボタンを 2 秒程度長押しします。画面に [LOG] が表示され、約 1 秒後にログモードに切り替わります。

参照 ボタン操作とモードの切り替え・・・P.18

ログモードに切り替わると、最新のダイブログが表示されます。

② LED/LOG ボタンを押す度に、新しいダイブログから新しい順に呼び出されます。

PLAN ボタンを押す度に、逆に古いダイブログから古い順に呼び出されます。

LED/LOG ボタンまたは PLAN ボタンを押し続けると早送りできます。

※ダイブログの最後（最古ログの次、最新ログの前）はダイブ履歴データです。

参考 ダイブ履歴の表示・・・P.43

③ フリーダイブプロファイルを確認したいダイブログを画面に表示し、MODE ボタンを押します。

画面に [PROF] が表示され、約 1 秒後にプロファイル画面が表示されます。セッション内の最初のダイビングから順に 1 秒間隔で最後のダイビングまで自動で表示します。

MODE ボタン以外を押すと自動表示が停止します。

開始時間	ダイビング開始時刻を表示
ログ No	セッション内の潜水の通番 1～総ダイブ数まで（2桁表示）
ダイブ時間	対象ダイブのダイブ時間の表示 分'秒
最大水深	対象ダイブの最大水深を表示
最深水温	対象ダイブの最深時の水温を表示



④ PLAN ボタンを押す度に、サンプリング間隔のデータが更新され、経過時間が進みます。

LED/LOG ボタンを押す度に、サンプリング間隔のデータが更新され、経過時間が戻ります。

PLAN ボタンまたは LED/LOG ボタンを押し続けると早送りできます。

⑤ MODE ボタンを押すと [LOG] が表示され、ダイブプロファイル表示から抜けます。

10. プランモード (PLAN)

プランモードでは、初回潜水、反復潜水、ナイトロック (EANx) ダイビング、3種類のセーフティファクターに対応したダイビングの計画ができます。

深度9mから3m毎に変化させた深度の無減圧潜水時間を表示します。



10-1. 酸素濃度を設定する

①プランモードにします。

時計モードまたはサーフェスモードでPLANボタンを1回押します。画面に[PLAN]が表示され、約1秒後にプランモードに切り替わります。

(※ゲージモードONの場合は酸素濃度設定できません)

参照 ボタン操作とモードの切り替え・・・P.18

②ADJUSTボタンを長押し(約2秒)します。

[SET][Hold]が点滅した後、[GAS1][21 ~ 100%]が表示されたら指を離します。

③LED/LOGボタンまたはPLANボタンを押して、酸素濃度「21% ~ 100%」を設定します。

22% ~ 100%がナイトロック (EANx) になります。



注意 ・ 酸素濃度を高く設定するほど、潜水可能な深度は浅くなります。

LED/LOGボタンまたはPLANボタンを押し続けると早送りできます。21、32、50%で一度停止します。

④複数ガス使用したダイビングを行う場合には、ガス2~4まで同様に設定可能です。ADJUSTボタンを押すとガス2設定となります。ここでOFF設定しADJUSTボタンを押すと酸素濃度設定からセーフティファクター設定になります。

参考 酸素濃度設定は、酸素濃度がガス1<ガス2<ガス3<ガス4となるようにしか設定できません。

⑤MODEボタンを長押し(約2秒)すると、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

[SET][Hold][TIME]が点滅した後、[TIME]が表示されたら指を離します。



注意

- ・ ナイトロックス (EANx) ダイビングでは、1 ダイブ毎に酸素濃度を設定しなければなりません。
- ・ ダイブモード中は、酸素濃度の設定状況確認、ガス切替は可能ですが、ガス濃度の設定変更はできません。

10-2. ナイトロックス (EANx) ダイビング

参考 EANx : Enriched Air Nitrox (略称: ナイトロックス)

通常使用する圧縮空気 (酸素濃度 21%) よりも酸素の割合を高くした混合ガス。

本製品は、通常使用する酸素濃度 21% の圧縮空気と酸素濃度 22% ~ 100% の EANx を使用したダイビングが可能です。ナイトロックス (EANx) を使用したダイビングでは、通常のダイビング表示に加え、酸素の過剰摂取による酸素中毒を考慮し、酸素濃度と水深により、酸素による人体への影響をモニターします。

ナイトロックス (EANx) ダイビングのときは、時計モードの時は酸素濃度が点滅表示、サーフェスモードの時は酸素濃度とサーフェスタイトが交互表示します。

参照 酸素濃度を設定する・・・P52

酸素濃度のデフォルト機能・・・P53

10-3. 酸素濃度のデフォルト機能

酸素濃度を 22% ~ 100% の範囲に設定したまま、日付が変更 (0:00) された場合、酸素濃度がデフォルト状態 (酸素濃度 21% : 圧縮空気) に戻り、ガス 2 ~ 4 が OFF 設定となります。

10-4. セーフティファクターを設定する

3種類の減圧スケジュールを選択できます。

表セーフティファクターとNDL(無減圧潜水時間(分))の目安

水深 (m)	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48
SF0	200	104	66	46	35	25	20	16	14	11	9	8	7	6
SF1	200	95	60	44	33	23	19	16	13	11	9	8	7	6
SF2	180	80	52	39	30	22	17	15	13	11	8	7	6	5

※大気圧 1013mbar の時のNDL。大気圧により変動します。



注意

- セーフティファクターは、一度設定した後、変更するまで有効になります。ダイビング中、ダイビング後の演算にも影響します。

①プランモードにします。

時計モードまたはサーフェスモードでPLANボタンを1回押します。

画面に[PLAN]が表示され、約1秒後にプランモードに切り替わります。

参照 ボタン操作とモードの切り替え・・・P.18

②ADJUSTボタンを長押し(約2秒)します。

[SET][Hold]が点滅した後、[GAS1][21~100%]が表示されたら指を離します。

ゲージモードがONの場合にはガス設定となりません。

③ADJUSTボタンを2~4回押してセーフティファクター設定画面に切り替えます。

④PLANボタン、またはLED/LOGボタンを押して設定を変更してください。

⑤MODEボタンを長押し(約2秒)すると、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

[SET][Hold][TIME]が点滅した後、[TIME]が表示されたら指を離します。



注意

- ダイブモード中はセーフティファクターの設定状況確認、及び設定/変更はできません。

10-5. 深度インターバルアラームの設定

潜水中に、設定深度毎に“ピッピッピ”と警告音がなる深度インターバルアラーム機能を備えています。設定時は、通常のダイビングモード、フリーダイビングモード、ゲージモードに対応します。

設定方法

①プランモードにします。

時計モードまたはサーフェスモードでPLAN ボタンを1回押します。

画面に[PLAN]が表示され、約1秒後にプランモードに切り替わります。

②ADJUST ボタンを長押し(約2秒)します。

[SET][Hold] が点滅した後、[GAS1][21 ~ 100%]が表示されたら指を離します。ゲージモードがONの場合にはすぐにインターバルアラームの画面に切り替わりますので、⑤へジャンプしてください。

③ADJUST ボタンを2~4回押ししてセーフティファクター設定画面に切り替えます。

④ADJUST ボタンを押してインターバルアラームの設定画面に切り替えます。

⑤PLAN ボタンを押すと1m毎に水深が増え、LED/LOG ボタンを押すと1m毎に水深が減ります。設定はOFF/3/4/5...98/99mまでとなります。フィート設定時はOFF/10/15/20...320/325ftとなります。



⑥MODE ボタンを長押し(約2秒)すると、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

[SET][Hold][TIME] が点滅した後、[TIME]が表示されたら指を離します。

アラーム機能

- 水深3mを超えたら機能します。
- 設定値の倍数の水深を越えた時に警告音がなります。画面の変化はありません。
- 設定水深近くで潜水する場合に、頻繁に警告音がなることを避けるため、3mの緩衝地帯が設定されています。一旦設定水深の緩衝領域より浅い水深まで浮上した後、再度設定水深まで潜行すると警告音がなります。
- 参考 水深の計測間隔時間以内に複数のアラームポイントを超えて潜行した場合は、ブザーは一度だけなります。

10-7. ダイビングを計画する

①プランモードにします。

時計モードまたはサーフェスモードでPLANボタンを1回押します。画面に[PLAN]が表示され、約1秒後にプランモードに切り替わります。
参照 ボタン操作とモードの切り替え・・・P.18

無減圧潜水時間 (NDL)	無減圧のまま潜水予定水深に滞留可能な時間 ※最大 200分
潜水予定水深	水深 9m～48m まで3m 毎に変更できます

②PLANボタンまたはLED/LOGボタンを押して、潜水予定水深「9～48m」を設定します。

潜水予定水深が3m間隔で表示され、その水深で計算された無減圧潜水時間が表示されます。

③MODEボタンを長押し(約2秒)すると、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

[SET][Hold][TIME]が点滅した後、[TIME]が表示されたら指を離します。

参考 ガス1の酸素濃度使用時の無減圧潜水時間を表示します。また、酸素分圧1.4barを越える場合には0分表示となります。

10-8. OTU (UPTD) 肺酸素中毒指標の表示

肺酸素中毒の予防の目安として、OTU (UPTD) の一日の積算分として600を100%とした場合の割合と、一週間積算分として2500を100%とした場合の割合を表示することができます。

表示方法

①プランモードにします。

時計モードまたはサーフェスモードでPLANボタンを1回押します。画面に[PLAN]が表示され、約1秒後にプランモードに切り替わります。

②ADJUSTボタンを押すと一日積算分が表示されます。

③もう一度ADJUSTボタンを押すと一週間の積算分が表示されます。



④MODEボタンを長押し(約2秒)すると、時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

1 1. 方位計測 (COMP)

時計モード、サーフェスモードおよびダイブモード（ゲージ、フリーダイブも含む）で使用できます。

計測した方位（東西南北の4方位）を表示します。

方位の略語と方位角を表示します。

- ・本製品に内蔵の方位センサーで計測します。
- ・正確に計測するために、「方位を補正する」(P.58)「方位計測のご注意」(P.60)をご覧ください。

1 1-1. 方位を計測する

①方位計測モードにします。

時計モード、サーフェスモードから MODE ボタンを2回押します。

画面に [COMP] が表示されます。

参照 ボタン操作とモードの切り替え・・・P.18

②本製品の12時位置を「計測したい方向」に向けます。

③本製品を水平に保ちながら PLAN ボタンを押します。

方位計測を開始すると約1秒後に方位の略語と方位角を表示します。

<方位の略語と意味>

N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW
北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西

- ・最初の計測結果を表示後も、1秒毎に60秒ほど計測と表示を続けます。計測が終わると、時計モード及びサーフェスモード、またはダイブモードに戻ります。

1 1-2. 方位を補正する

計測の精度を上げるため、以下の方法で方位を補正してください。

方位補正の方法

正確な方位計と比較して、方向がずれている場合や、ダイビング前の準備でお使いください。

▼重要

- ・補正中は、本機を水平にして動かさないで下さい。
- ・家庭電化製品、OA機器、携帯電話の近くなど、強い磁力のある場所では正しく補正できない可能性があります。
- ・セットする2点は正確に180度反対方向にしてください。

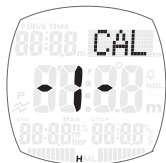


補正

①方位計測モードで ADJUST ボタンを 2 秒以上押し続けます。

[SET][Hold] が点滅した後、[CALIBRATION][1-] が表示されたら指を離します。

[CALIBRATION] は流れるように表示します。



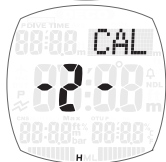
② LED/LOG ボタンを押します。

1 点目の補正計測を開始します。

• 補正計測中は [-] を表示します。

• 補正計測が成功すると [Turn 180°] が表示されます。また、1 秒後に [CALIBRATION][2-] が表示されます。

[ERR][1-] が表示されたときは、もう一度 LED/LOG ボタンを押し、再度計測してください。



③本製品を 180°回転させます。

④ LED/LOG ボタンを押します。

2 点目の補正計測を開始します。

• 補正計測中は [-] を表示します。

• 補正計測が成功すると [OK] を表示して、方位計測に切り替わります。これで補正は完了です。

[ERR][1-] が表示されたときは、もう一度手順②から操作してください。

• 1 分間何も操作しないと、時計モード及びサーフェスマード、またはダイブモードに戻ります。

▼重要

• ダイビング中は方位計の補正はできません。

11-3. 方位計測のご注意

磁北と真北

北を示す地理用語には磁北と真北の2種類があります。

磁北：コンパス(方位磁針)が示す北

真北：北極点の方向

・一般に市販されている地図の「北」は真北のことです。

使用場所

地磁気に強く影響を及ぼすものの近くで計測すると、計測値に誤差が発生します。以下のものからは離してご使用ください。

永久磁気(磁気ネックレスなど)、金属(金属製ドア、ロッカーなど)、高圧線、架線、家庭電化製品(テレビ、パソコン、洗濯機、冷蔵庫など)

- ・電車、船、飛行機などの乗り物の中では、正確な計測はできません。
- ・室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内では正確な計測はできません。

保管場所

本体が磁気を帯びた場合、方位計測の精度に影響を及ぼす恐れがあります。

永久磁気(磁気ネックレスなど)、家庭電化製品(テレビ、パソコン、洗濯機、冷蔵庫など)などの強い磁気を帯びたものの近くに置かないで下さい。

計測した方位に誤りがある場合、本体が磁気を帯びている可能性があります。補正をして下さい。

方位計測中の動作

- ・計測中の60秒間は、オートライトは点灯しません。
- ・方位計測中にアラームなどの音が鳴った時やLED/LOGボタンを押してライト点灯させたときは、一時的に計測を中止し、アラーム音の後またはライト消灯後に計測を再開します。
- ・気圧、気温表示は行いますが、方位計を優先測定するため、最大20秒毎の計測となります。

12. ストップウォッチ (STW)

時計モードまたはサーフェスモードの時に使用できます。

1/10 秒単位で 999 時間 59 分 59 秒 9 まで計測できます。

計測範囲を超えた場合は、0 に戻って計測を続けます。



12-1. ストップウォッチモードを選ぶ

時計モードまたはサーフェスモードで MODE ボタンを 3 回押します。ストップウォッチモードに切り替わります。

[STW] を表示し、約 1 秒後にストップウォッチ表示に切り替わります。

参照 ボタン操作とモードの切り替え・・・P.18

12-2. 計測する

ボタン操作は以下の通りです。

・経過時間計測

PLAN → PLAN → PLAN → PLAN → ADJUST
スタート → ストップ → 再スタート → ストップ → リセット

・スプリットタイム (途中経過時間) 計測

PLAN → ADJUST → ADJUST → PLAN → ADJUST
スタート → スプリット → スプリット解除 → ストップ → リセット

・1,2 着同時計測

PLAN → ADJUST → PLAN → ADJUST → ADJUST
スタート → スプリット → ストップ → スプリット解除 → リセット
1着ゴール (1着タイム表示) 2着ゴール (2着タイム表示)

参考

- 計測を開始後は、他のモードに切り替えたり、計測範囲を超えても ADJUST ボタンでリセットするまで計測を継続します。
- スプリット計測中に他のモードへ切り替えると、スプリットが解除されて経過時間を計測します。

13-3. 計測する

タイマー計測のボタン操作は、以下の通りです。

PLAN → PLAN → PLAN → PLAN → ADJUST
スタート → ストップ → (再スタート) → ストップ → リセット
(ストップ)

参考

- ・ タイムアップになるとタイムアップ音が10秒間鳴り、画面が計測前の状態に切り替わります。
- ・ ダイブモードなど、他のモードに切り替わっていても、タイムアップ音が鳴ります。

13-4. タイムアップ音を止める

いずれかのボタンを押すとタイムアップ音が止まります。

14. アラーム・時報 (ALM)

時計モードまたはサーフェスモードの時に使用できます。

通常のアラームを4つ、スヌーズアラームを1つ設定できます。通常のアラームは、設定した時刻になるとアラーム音が約10秒間鳴ります。スヌーズアラームは、このアラーム音を5分おきに合計7回繰り返します。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすことも出来ます。



14-1. アラームモードを選ぶ

時計モードまたはサーフェスモードでMODEボタンを5回押します。

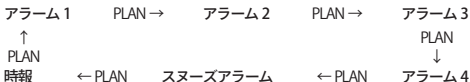
アラームモードに切り替わります。

[ALM]を表示し、約1秒後にアラーム番号([AL-1]～[AL-4],[SNZ])または[SIG]を表示します。

参照 ボタン操作とモードの切り替え・・・P.18

14-2. アラーム時刻を設定する

①アラームモードで、PLAN ボタンを押して、設定するアラーム番号を選びます。



・ 時報には時刻設定はありません。

② ADJUST ボタンを2秒以上押し続けます。

[SET][Hold] が点滅した後、アラーム時刻の「時」表示が点滅したら指を離します。

③ MODE ボタンを押して、「時」または「分」を選びます。

選んだ方が点滅表示になります。

④ PLAN または LED/LOG ボタンを押して、「時」または「分」を設定します。

・ PLAN または LED/LOG ボタンを押し続けると早送りできます。

・ 12時間制で表示している場合、午後は [P] を表示します。

⑤ ADJUST ボタンを押します。

設定が完了しました。

・ 時刻を設定したアラームはオンになります。

・ 設定画面のまま2～3分間何も操作しないと、自動的に設定画面を終了します。

この場合も設定しようとしたアラームはオンになります。

14-3. アラーム・時報のオン/オフ

①アラームモードで、PLAN ボタンを押して、設定するアラーム番号または時報を選びます。

② ADJUST ボタンを押して、アラームまたは時報のオン/オフを切り替えます。

4つのアラームのうち1つ以上のアラームをオンにすると[アラームマーク]が点灯します。

スヌーズアラーム及び時報をオンにしてもマークは点灯しません。

14-4. アラーム音を止める

いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まります。

参考

- ダイブモードなど、他のモードに切り替わっていても、アラーム音が鳴ります。
 - スヌーズアラームの場合、約5分毎に7回アラーム音が繰り返し鳴ります。
 - スヌーズ中に以下の操作をすると、スヌーズアラーム機能が中断されません。
 - スヌーズアラームをオフに切り替えた
 - スヌーズアラームの時刻設定を始めた
 - 時計モードまたはサーフェスモードで各種の設定を開始した
- 参照 都市の設定と時計の合わせ方・・・P.25
- ホーム都市とワールドタイム都市が一致している時に、ワールドタイムモードでサマータイムの設定を変更した

15. ワールドタイム (WT)

世界48都市(31タイムゾーン)の時刻を知ることができます。ワールドタイムモードで選択した都市を「ワールドタイム都市」といいます。

15-1. ワールドタイムモードを選ぶ

時計モードまたはサーフェスモードでMODEボタンを6回押します。

ワールドタイムモードに切り替わります。

[WT]を表示し、約1秒後に現在選択している都市コードと都市名(英名)が流れるように1回表示されます。

その後は、都市コードだけを表示します。

参照 ボタン操作とモードの切り替え・・・P.18



15-2. 他のタイムゾーンの時刻を見る

ワールドタイムモードでPLANボタンを押して都市コードを選びます。

- 選択した都市の現在時刻を表示します。
- PLANボタンを押し続けると早送りできます。

15-3. サマータイム (DST) の設定

- ①ワールドタイムモードで、PLAN ボタンを押して都市コードを選びます。
 - ②ADJUST ボタンを2秒以上押し続けます。
 - [DST][Hold][ON] または [DST][Hold][OFF] が点滅した後、設定が切り替わります。
- [DST][Hold][ON] が点滅するとサマータイムが設定されます。時刻もサマータイムで表示されます。
- [DST][Hold][OFF] が点滅するとサマータイムが解除されて、通常の時刻(スタンダードタイム)を表示します。
- 表示時刻をサマータイムに設定したときは、[DST] を表示します。

参考

- サマータイムとは、DST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻(スタンダードタイム)から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。
- ワールドタイムの都市にUTCを設定した場合、サマータイム設定の切り替えはできません。
- サマータイム設定は、選択している都市のみ適用します。他の都市には影響しません。
- ワールドタイムモードにてUTC以外の都市を設定すると、時計モードの左下に選択の都市のワールドタイムを24時間表示で表示します。(Nx設定時を除く)

16. ソーラー充電量表示 (SLR)

現在の光量での充電量を定量的に確認することができます。

また、その光量での電池残量レベルがHになるまでの充電予測時間が分かります。ただし、電池電圧レベルの詳細な変動を捉えないので、予測時間はあくまで目安とお考え下さい。

表示内容

現在の充電量：ソーラー充電量を最大1000とした時の光量 (0～1000)

SLR：ソーラー充電量表示モードのタイトル

充電予測時間：電池残量レベルがHになるまでの時間の目安 (0～999時間)

インジケータ：現在の充電量に応じて点滅速度が変わる充電無しでは点滅表示しない



ボタン操作

① PLAN ボタンを押すとその時点から1分間再計測になります。

※再計測しない場合は1分間で時計モードに戻ります。

17. ライト

暗いところで画面の表示を見る時に、ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。

また、暗いところで製品の傾きによってライトを点灯させるオートライト機能を設定できます。

17-1. ボタンを押して点灯させる

時計モード、サーフェスモード、およびそこから MODE ボタンにてモード切替した TOP 画面で LED/LOG ボタンを押すと、ライトが点灯します。(ダイブモードも含む)

参考

- ・ライト点灯中にアラーム音が鳴ると消灯します。
- ・センサー計測中は、ライトが点灯しません。

17-2. 自動的に点灯させる(オートライト)

オートライト機能が設定されているとき、本製品を 40°以上傾けるとライトが点灯します。また、設定時は LT マークも点灯状態となります。

参考

- ・明るいところでは点灯しません。
- ・以下の状態のとき、オートライト機能は作動しません。
 - アラーム音が鳴っているとき
 - 方位計測モードで補正しているとき
- ・オートライト機能は、センサー計測後に作動します(タイミングによっては、遅れて点灯することがあります)。

オートライトの設定/解除 参照・・・P32

オートライトに関する注意事項

- ・本製品が水平状態から 15 度以上傾いていると、点灯しにくくなります。
- ・本製品が袖などに隠れていると、ライトが頻繁に点灯して充電量が低下します。
- ・静電気や磁気の影響で、オートライトが作動しないことがあります。
- ・その場合、もう一度、本製品を水平状態にしてから傾けてください。
- ・本製品を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。これは、オートライトスイッチの作動音で、故障ではありません。

18. フリーダイビングモード

スキンドайビングやフリーダイビング時に使用するフリーダイビングモードを備えています。通常のダイビングのように窒素の吸排出演算は行われません。また、減圧演算も行われないので、無減圧潜水時間の表示や、浮上速度違反などの各種警告も表示されません。

18-1. フリーダイビングモードの切替

時計モードまたはサーフェスモードで、LED/LOG ボタンを押しながら PLAN ボタンを2回長押しすると手動ダイビングモードを経てフリーダイビングモードに切り替わります。ただし、体内窒素が残っている状態、48時間ロック状態になっている場合、充電不足の場合、ゲージモードに設定されている場合はフリーダイビングには切り替わりません。



18-2. フリーダイビングモードの終了

LED/LOG ボタンを押しながら PLAN ボタンを長押しすると時計モードまたはサーフェスモードに切り替わります。尚、60分間水深1m以上に潜らない場合にも自動的にフリーダイビング終了します。

ただし、水深1m以上潜っている状態でLED/LOG ボタン押しながら PLAN ボタンを押しても終了しませんが、99分間水深1m以上継続した場合には自動的にフリーダイビング終了します。

参考 フリーダイビングモードの開始から終了までにダイビングを行った場合、ひとつのセッションとしてログの1本として保存されます。そのログのプロファイルとして1m以上ダイビングした本数だけデータが残ります。

18-3. フリーダイビング画面

フリーダイビング開始してから1m以上潜ると水中の画面に切り替わります。1秒毎にセッション No とフリーダイブタイトルが交互表示します。1mより浮上すると水面休息の画面に切り替わります。



18-4. フリーモードのボタン操作

① MODE ボタンを押すと方位計モードに切り替わります。

参照 P58

②さらに MODE ボタンを押すとストップウォッチモードになります。参照 P61

③さらに MODE ボタンを押すとダイビングモードに戻ります。

④ ADJUST ボタンを押すとセッション内の履歴を表示します。



⑤その状態から ADJUST ボタンを押すとセッション内での最深潜行時の情報確認ができます。



⑥その状態から ADJUST ボタンを押すとセッション内での最長潜行時の情報確認ができます。



⑦その状態から ADJUST ボタンを押すとフリーダイビングモードの画面に戻ります。

19. ゲージモード

通常のダイビングに対して、窒素演算、無減圧潜水時間演算、各種警告を行わないモードです。一般のダイバーは使用不可です。

19-1. ゲージモードの設定

①プランモードにします。

時計モードまたはサーフェスモードで PLAN ボタンを 1 回押します。

画面に [PLAN] が表示され、約 1 秒後にプランモードに切り替わります。

ここで GAUGE ON の表示の場合は既にゲージモードに設定されていますので、設定する必要はありません。通常は水深と NDL の表示となります。

② ADJUST ボタンを長押し (約 2 秒) します。

[SET][Hold] が点滅した後、[GAS1][21 ~ 100%] が表示されたら指を離します。

③再度 ADJUST ボタンを長押し (約 2 秒) します。

[SET][Hold] が点滅した後、[GAUGE][OFF] が表示されたら指を離します。



④ PLAN ボタンを押して ON 設定にします。

⑤ MODE ボタンを長押し (約 2 秒) します。

時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

参考

ゲージモードは、窒素蓄積状態では ON 設定不可です。また、3分以上ゲージモードダイビングを行うと、ゲージモード OFF は 4 8 時間不可となります。

尚、ゲージ ON 設定時はガス 1~4 の酸素濃度設定、セーフティファクター設定はできません。

19-2. ゲージモードダイビング

ゲージモードダイビング開始する方法は通常のダイビングと同じです。(参照 P35)



表示内容

潜水時間	潜水開始から経過した時間 ※最大 599 分
GAUGE	ゲージモードのタイトル
現在水深	現在の水深 0.1m 単位で表示 ※最大 99.9m
最大水深 (MAX)	潜水開始してからの最大水深表示 ※最大 99.9m
水温	現在の水温表示
方位および方位角度	参照 方位計測・・・P58
ストップウォッチ	経過時間を 0.1 秒単位まで表示・・・P61

ボタン操作

- ① MODE ボタンを押すと方位計モードになります。
- ② MODE ボタンを再度押すとストップウォッチモードになります。
- ③ MODE ボタンを再度押すとゲージモードダイビングに戻ります。

20. Bluetooth データ転送モード (BLE)

本機を Bluetooth データ転送モードにすることにより、各種データ通信、設定変更が可能となります。(別途対応のスマートフォンアプリを準備してください。) アプリストアで "Z dive log" と検索頂くか下記の QR コードを読み取りインストールして下さい。



操作方法

①時計モードまたはサーフェスモードから
MODE ボタンを1回押します。



② PLAN ボタンを押して On にします。



ここでスマートフォンのアプリと通信状態になると右図に切り替わります。スマートフォンのアプリと通信状態にならないままだと約30秒で自動でOFFします。



③通信が終了しましたら PLAN ボタンを押して OFF にします。OFF にした直後約5秒程度は OFF が点滅表示します。この間に PLAN ボタンを押しても ON とはなりません。点滅が終了してから ON してください。

④ MODE ボタンを押すと方位計モードに移行します。また、長押しすると時計モードまたはサーフェスモードに戻ります。

参考 スマートフォンアプリと通信状態で、何もデータの送受信がない場合には約10分ほどで自動でOFFします。

スマートフォンによってはアプリから本機を探すことができない場合があります。そのような場合には、インターバルタイムを変更することで対応することができます。(4種類)

①時計モードまたはサーフェスモードから MODE ボタンを押します。

② ADJUST ボタンを長押し (約2秒) します。[set][hold] が点滅表示後 [int] が表示されましたら指を離します。



③ PLAN ボタンまたは LED/LOG ボタンによりインターバルタイムを変更します。

④ ADJUST ボタンを押して Bluetooth データ転送モードにします。

21. 故障かな?と思ったときは

<ダイビング関連>

状況	原因と対処
画面表示が薄い	低温時には表示が薄くなる場合があります。しばらく様子を見てください。しばらく経っても状況が改善しない場合は、販売店にご相談ください。
買った時からダイブログが記録されている	工場品質検査のため、工場出荷時からテストデータが入っています。故障ではありません。
水面上で DECO マーク、時刻が点滅している	減圧停止指示違反をしたためです。減圧停止指示違反警告が出てから 3 分未満であれば再度指示された深度で減圧停止を行ってください。3 分以上経過している場合は、48 時間ダイビングでの使用はできません。
水面上で EEEE マークと時刻が交互表示している	計測範囲外が警告されたためです。48 時間ダイビングでの使用ができません。
時計モードで左下に % 数値が点滅している	ナイトロックス (EANx) ガス (酸素濃度 22% ~ 100%) を設定しています。次回ナイトロックスを使用しない場合には酸素濃度を設定しなおしてください。参照 酸素濃度を設定する・・・P.52
ダイブモードにならない	<ul style="list-style-type: none"> ・減圧停止指示違反または計測範囲外が警告されています。ダイビングには使用できません。警告が発令してから 48 時間経過すれば自動的に復帰します。 ・高度が 6000m 相当と識別されています。しばらく時間をおくか、高度の低い場所に移動してください。 ・充電不足が考えられます。充電レベルを確認してください。 参照 充電量の確認・・・P.13 上記以外であれば、センサーの故障が考えられます。販売店にご相談ください。
飛行機搭乗中や高所移動中にダイブモードになった	急激な気圧変化があった場合、起こります。故障ではありません。LED/LOG + PLAN ボタンを同時に 2 秒間長押しすると「000」と点滅します。LED/LOG または PLAN ボタンで数字を選択し ADJUST ボタンで決定しながら「313」のコードを入力すると時計モードに戻ります。

<時刻設定>

状況	原因と対処
現在時刻の表示が 数時間ずれている	ホーム都市の設定が正しくありません。ホーム都市の設定を確認してください。 参照 ホーム都市、サマータイムを設定する・・・P.22
現在時刻の表示が 1時間ずれている	サマータイムに対応した時刻設定をする必要があります。 参照 ホーム都市、サマータイムを設定する・・・P.22

<センサー関連>

状況	原因と対処
計測中に [ERR] を表示した	センサーや内部回路が故障すると [ERR](エラー) を表示し、センサー機能が使用できなくなります。 計測中に [ERR] を表示したときは、計測をやり直してください。また [ERR] を表示した場合、センサーの異常が考えられます。 ・[ERR] 表示が消えない場合、センサーの故障が考えられます。販売店にご相談ください。

<方位計測>

状況	原因と対処
方位計測にて補正実施後、 [ERR] を表示した。	補正画面に [-] が表示された後に [ERR](エラー) が表示された場合、センサーの異常が考えられます。 ・[ERR] 表示が約1秒後に消えた場合、もう一度補正してください。 ・[ERR] 表示が消えない時は、販売店にご相談ください。
正確な方位計測ができない	・補正が正確ではない。 参照 補正・・・P.58 ・家電、橋梁、鉄骨、架線など強力な磁気の近くでは、方位計測できません。鉄製のものから離れてください。また、電車、船などで方位計測はできません。 参照 方位計測のご注意・・・P.60
同じ場所で計測結果が異なる	近くの高圧電線などの影響により、地磁気の検出が安定していません。高圧電線などから離れ、計測し直してください。
室内で方位計測ができない	テレビ、パソコン、スピーカーなど、磁気の方向を乱す物体が地磁気の検出を妨げています。影響を及ぼすものから離れるか、もしくは屋外で再計測してください。特に鉄筋コンクリート構造の室内では、正確な計測はできません。また、電車や航空機の中での計測はできません。

<ワールドタイムモード>

状況	原因と対処
設定したワールドタイム都市の時刻がずれている	サマータイム設定(スタンダードタイム/サマータイム)が正しくありません。 参照 サマータイム(DST)の設定・・・P.66

<充電>

状況	原因と対処
[H][M][L]が全て点滅している	充電回復モードの状態です。回復するまで(約15分)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。 参考 ・センサーを短時間に連続して使用すると充電量が急激に減少し、充電回復モードに切り替わります。充電回復モード中は[H][M][L]が全て点滅します。「充電不足」と同じ状態になり、使用できる機能が制限されますが、復帰後は通常の状態に戻ります。 参考 充電不足や充電切れ・・・P.14 ・[H][M][L]と[CHG]と一緒に点滅しているときは、充電量が著しく低下しています。すぐに光に当てて充電してください。
光に当てて充電しても使用時間が短くなった	バッテリー(二次電池)は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありませんが、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化していきます。ご使用に支障をきたすような状態であれば電池交換(有償)をお勧めしますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

2 2. 製品仕様

精度	平均月差± 15 秒
基本機能	時・分・秒・年・月・日・曜日、午前/午後 (P) / 24 時間制表示、フルオートカレンダー (～ 2099 年)
センサー精度	<ul style="list-style-type: none"> ・方位センサー 計測精度 ± 10°以内 精度保証温度範囲 -10°C～60°C ・温度センサー 計測精度 ± 2°C以内 精度保証温度範囲 -10°C～60°C ・圧力センサー 計測精度 ± 1% + 0.5m 精度保証温度範囲 -5～40°C
計測間隔	深度計測 1 秒 (フリーダイブ 0.5 秒) 水温計測 1 秒 (フリーダイブ 0.5 秒) 気圧計測 20 秒
計測範囲	深度 1.6m～99.9m 潜水時間 0～599 分 高度 0～6000m 温度 -10°C～60°C (ダイブ関連は 40°C まで表示)
酸素濃度	21%(圧縮空気)～100% 設定間隔 1%
防水性能	100m
ダイブログ記録本数	最大 30 本
方位計測機能	方位角の計測範囲 0～359°、方位補正機能 (2 点)
ストップウォッチ機能	計測単位 1/10 秒 計測範囲 999 時間 59 分 59 秒 計測精度 ± 0.0006% 計測機能 通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2 着同時計測
アラーム機能	時刻アラーム アラーム数 4 本 スヌーズアラーム数 1 本 セット単位 時・分 アラーム報音時間 10 秒間 時報 毎正時に 2 回電子音で報知
その他	LED ライト、ライト点灯時間切り替え、フルオートライト、パワーセービング機能、充電量表示、操作音の設定/解除
使用電池	二次電池
バッテリー (二次電池) 持続時間	フル充電状態から約 1 ヶ月 (ダイビング条件 60 分 1 回 / 1 日)

23. ご使用上の注意

■防水性

- 防水性を保つために定期的(2～3年を目安)なパッキン交換をお勧めします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、内部に水が残っている場合は、直ちにご使用をやめて、お買い上げの販売店にご相談ください。

■バンド

- バンドをきつくしめると汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。陸上で日常的に使用される場合は、指一本入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店にお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近くなどの高温になる場所に放置しないで下さい。また、寒いところにも長く放置しないで下さい。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上のところに長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

■ショック

- 落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

■磁気

- 動作に影響を与えることはありませんが、製品自体が磁気を帯びますと精度に影響を与えますのでご注意ください。なお、極度に強い磁気(医療機器など)は、誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでご注意ください。

■静電気

- ・ 静電気により誤った情報を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- ・ 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分が滲む現象が発生することがあります。

■薬品類

- ・ シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類などが付着すると、樹脂ケース、樹脂バンドなどに破損が生じることがありますのでご注意ください。

■保管

- ・ 長期間ご利用にならないときは、汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- ・ 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておく、他の製品に色落ちしたり、他の製品の色が樹脂部品に移ったりすることがありますので、濡れているときは、すぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- ・ 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色褪せする場合があります。
- ・ 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃など)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。

■液晶表示について

- ・ 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

■データ保護について

- ・ 電池交換および故障修理の場合、データ内容は全て消えてしまうおそれがありますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益につきましては、一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータは通信により保存するか、ノートなどに控えを取っておいてください。

■センサーについて

- ・ 本製品のセンサーは精密機械ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒で突いたり、ゴミ・埃などが入らないようにご注意ください。なお、海水でご利用の場合は、必ず真水で洗い流してください。

万一、本製品の使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

24. お手入れについて

■お手入れのしかた

ダイブコンピュータも衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。特に海水でのダイビング後は、真水にしばらく浸してから、よく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部分は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- ボタンは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

<さび>

- 本製品で使用している金属は錆びにくい性質ですが、汚れにより錆びが発生します。 ※汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、錆びが発生します。
- 錆びが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)をお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面は綺麗でも、すきまに付着した汚れや錆びが染み出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、本製品の性能が劣化することがあります。

<劣化>

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

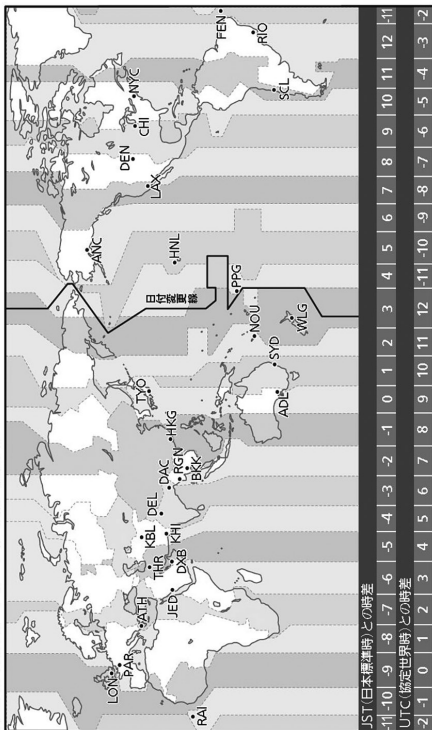
<かぶれ>

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様ご自身で電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると破損の原因となります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなる場合があります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

地図から目的地のタイムゾーンをご確認ください。



25. UTC(協定世界時)とタイムゾーン

左記ページの地図から目的地のタイムゾーンをご確認ください。

26. 都市コード一覧表

コード		タイムゾーン	都市名
UTC(協定世界時)		0	-
LISBON	LIS	0	リスボン
LONDON	LON	0	ロンドン
MADRID	MAD	+1	マドリード
PARIS	PAR	+1	パリ
ROME	ROM	+1	ローマ
BERLIN	BER	+1	ベルリン
STOCKHOLM	STO	+1	ストックホルム
ATHENS	ATH	+2	アテネ
CAIRO	CAI	+2	カイロ
JERUSALEM	JRS	+2	エルサレム
MOSCOW	MOW	+3	モスクワ
JEDDAH	JED	+3	ジェッダ
TEHRAN	THR	+3.5	テヘラン
DUBAI	DXB	+4	ドバイ
KABUL	KBL	+4.5	カブール
KARACHI	KHI	+5	カラチ
DELHI	DEL	+5.5	デリー
KATHMANDU	KTM	+5.75	カトマンズ
DAHKA	DAC	+6	ダッカ
YANGON	RGN	+6.5	ヤンゴン
BANGKOK	BKK	+7	バンコク
SINGAPORE	SIN	+8	シンガポール
HONGKONG	HKG	+8	香港
BEIJING	BJS	+8	北京
TAIPEI	TPE	+8	台北
SEOUL	SEL	+9	ソウル

コード		タイムゾーン	都市名
TOKYO	TYO	+9	東京
ADELAIDE	ADL	+95	アデレード
GUAM	GUM	+10	グアム
SYDNEY	SYD	+10	シドニー
NOUMEA	NOU	+11	ヌーメア
WELLINGTON	WLG	+12	ウェリントン
PAGO PAGO	PPG	-11	パゴパゴ
HONOLULU	HNL	-10	ホノルル
ANCHORAGE	ANC	-9	アンカレジ
VANCOUVER	YVR	-8	バンクーバー
LOS ANGELES	LAX	-8	ロサンゼルス
EDMONTON	YEA	-7	エドモントン
DENVER	DEN	-7	デンバー
MEXICO CITY	MEX	-6	メキシコシティ
CHICAGO	CHI	-6	シカゴ
NEW YORK	NYC	-5	ニューヨーク
SANTIAGO	SCL	-4	サンティアゴ
HALIFAX	YHZ	-4	ハリファックス
SAINT JOHN'S	YYT	-35	セントジョンズ
RIO DE JANEIRO	RIO	-3	リオデジャネイロ
F.DENORONHA	FEN	-2	フェルナンド・デ・ノローニャ
PRAIA	RAI	-1	プライア

参考

- 2012年12月現在、モスクワの時差は「+4」に変更されていますが、本製品では対応していません。サマータイムを設定して、1時間進めてご使用ください。
- この表は、本製品の都市コード一覧です。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所の時差を確認し、時差が一致する都市コードを選択してください。
- 時差は協定世界時(UTC)を基準にしています。

商標について

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、スキューパプロはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

Android、Google、Google Play、およびその他のマークは、Google Inc の商標です。

App Store は Apple Inc のサービスマークです。

その他この取扱説明書に記載されている会社名、製品名またはサービス名は各社の商標または登録商標です。

